

日本航空医療学会認定指導者

設定団体

日本航空医療学会認定指導者

制度設立案

2006年

およその人数

526人

(2020年12月14日現在)

設立経緯・目的

搭乗もしくは運航に関与する航空医療関係者（医師，看護師，救急救命士，救急隊員，操縦士，整備士，又は運航管理者をいう）の知識，技術を向上させ，もってわが国の航空医療の安全と充実を図ることを目的とする（学会規則より抜粋）

ホームページ

<https://square.umin.ac.jp/jsas/index.html>

取得条件

以下全ての資格を具備すること。

- ① 3年以上引き続いて日本航空医療学会の会員であること
- ② 日本航空医療学会主催のドクターヘリコプター講習会を修了していること，または，「厚生労働省ドクターヘリ従事者研修」「HEM-Net 医師・看護師等研修」を修了していること。
- ③ 学会認定指定施設において2年以上の勤務経験を有すること。
- ④ 航空機による救急救護・搬送症例を指定施設において申請日を含む3年間で60例以上（1年あたり20症例以上）の搭乗症例を経験していること。

試験内容

書類審査

提出書類内容

- ① 認定指導者申請書
- ② 履歴書
- ③ 会費納入証明書
- ④ 症例実績表（勤務した施設ごとに救急部門長の証明を得ること。また，複数の勤務施設を有する申請者は，勤務施設別に症例実績表を作成すること）
- ⑤ 認定指導者重症症例報告書（症例実績表のうち10例の重症例を報告すること）

* 上記は学会ホームページから要ダウンロード。④・⑤については申請書類および原本1部と複本（コピー）10部以外にCDまたはフラッシュメモリーでも提出すること。

更新

5年満期。有効期間内に更新手続きが必要。